

被災地から学ぶ今後の防災について

西淀川区役所 地域支援課 安全まちづくりG 防災担当 小林

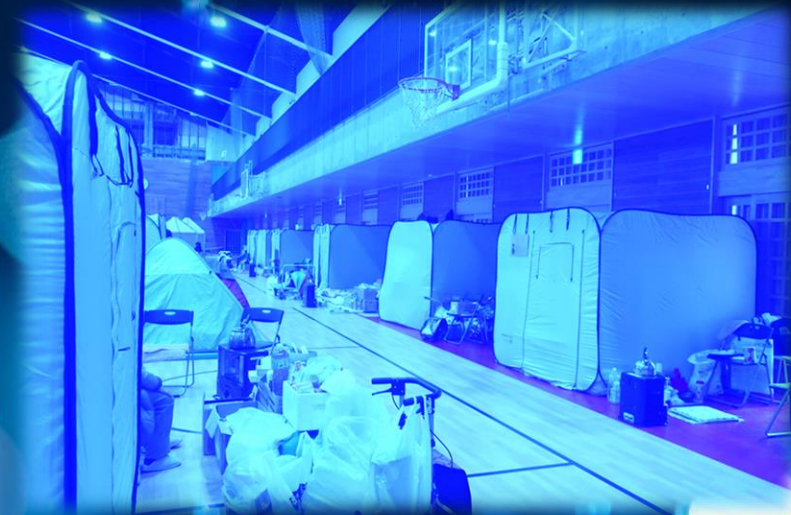
被災地から学ぶ今後の防災について

被害状況の変化について

輪島市内の現状について

避難所について

まとめ



輪島市内の現状について

市街地はほぼ壊滅状態

避難所は200を超えてる 避難者名簿なし

様々な自治体が職員を派遣

まとめ

避難者の声について（発災直後困ったこと）

- 非常持ち出し袋は用意していたが、玄関先にないため持ち出せなかった。
- 食べ物はどうにかなるが、水とトイレだけは非常に困った
- 通電するまで1週間かかり、暖をとるのが大変だった。
- クラスターが心配だった。

ま と め

避難者の声について（発災直後よかったこと）

- 皆で持ち寄ってきたものを分け合ったことにより知らない人とも仲良くなった。
- 餅つきやふれあい喫茶で顔見知りが多いこともあり励ましあえた。
- 正月で若者が帰省していたので津波や災害の知識があり安心した。
- 若者がスマホを利用して、安否確認や情報を取ってくれた。

まとめ

西淀川区で考えられる被害について

- 川が多く孤立化する地域が考えられる。
- 通信手段がなくなり情報が入手できなくなる。
- ほとんどの区役所職員も被災する。
- 液状化する地域も考えられる。